

弘前藩日記目録

(十五)

弘前藩政史研究会編

(延宝八庚申年二月大)
(十六丙子日 晴)

1、別条なし

十七丁丑日

晴

1、式日寄合

2、十三歳奉行任命、普請

十八戊寅日

晴

1、別条なし

十九己卯日

晴

1、卯刻、茂森袋所甚九郎のひさしより出火、塩崎次郎

右江内羅出で鎮火。添田儀左江内、長勝寺へ詰める

2、一之坪村肝煎甚助、觀之丹頂を台所へ

廿庚辰日

晴

1、西之岡岩坂糸の肝煎家、十七日夜焼失

2、江戸詰

の首2名、江戸へ出発

廿一辛巳日

晴

1、左内、兵右江内登城

ける

2、大御藏取置松役人を由付

廿二壬午日

暁午刻前及終夜

1、式日寄合

2、去年より御家中軍用銀、小普請銀の

納入していない面々に危度今日中に相消しよう願中へ

申渡す

3、土圭屋奉行誓詞

4、江戸より飛脚

5、田村藤太夫の支配の江戸詰、在國の者について

6、比多村監物屋敷の作事は直而沙汰の由

7、9、縁組許可

10、吉町守右江内病死、伴幼少(七才)

、また目更して屋敷にのさ知行取のところで、宇右

江内の勤勉により、成長の上、器量によりては相続

を認める、それまで十人扶接支給

11、物書役神七

右江内当年登番のところ、余人に替える

廿三癸未日

曇

1、外託、八兵衛登城

2、吉町又六支配の儀、幼少故

塩崎次郎右江内へ申渡す

廿四甲申日

晴

1、別条なし

廿五乙酉日

昨夜雪

1、外記登城

廿六丙戌日

晴

廿七丁亥日

晴

1、式日奇合 2、町夜廻り並に午廻、馬廻組頭之与力
御郭之内夜廻は春日朔日より相勤める旨申渡す

廿八戊子日 晴

1、恒例の諸御礼 2、3、外記、伊左征内登城

廿九己丑日 晴

1、外記登城

廿庚寅日 晴 昨夜中雨及今酉刻

1、江戸へ飛脚

延宝八庚申年三月小

月雀 盛岡主權

一辛卯日 晴

1、恒例の諸御礼

二壬辰日 晴

1、式日奇合 2、風が強いので火之用心堅く申付、家
中へ準れ 3、上野畑代官、群奉行へ引渡すの件、

誓詞 4、家中、町中、在々への拜借についてはそ
の高に依じて割付け、上納仕可き由申渡す 5、先

月晦日尾太山に於て定統他国者四人、雪にのきこめ
られ、相康て、他一人半死の由

三癸巳日 晴 夜雨

1、御嘉礼の御礼 2、伊左征内登城 3、白砂、節所
の張番、定の通り 4、江戸より飛脚 5、公方様

四十の賀、内々にて表沙汰にしない由、若殿様御禮、
御考差上の由 6、在府用人の支配の者に対しては、

藩主歸回まで待つように 7、下向の節の道中小納
戸、大納戸等を差登りせる必要はないと 8、外記、

左内之不足与力入れる儀にのき指示 9、着城の翌
日の使者は樞士跡三右征内へ 10、御歩行目付三橋

四五石征内病氣故扶持切米差上の件、廢の區り申渡
す 11、御慶居様踊入御納戸金、当年登置す儀無用

12、藩士袖由の許可 13、御家中江戸に於て御扶持下さ
る由書 百石より三千石迄の積今度改められ、委細

別帳の通り

四甲午日 晴

1、別条右し

五乙未日 晴 夜雨

1、外記登城 2、軍用銀、小普請銀請年役を任命

六丙申日 晴

1、別条右し

七丁酉日 晴

1、式日奇合 2、3、4、捕屋奉行、十三沖捕目、鯨ヶ沢
沖奉行を申付け、誓詞 5、外決下磯左京領分の御
用を田山藤左征内外絵書、大工に申付差越す

六、江戸から飛脚 7、8、公方様四十年の祝、内々左札

七、若殿様よりお祝差上の所、諸証拜領、殿様御機
嫌の由(ニ) 9、右祝儀のため一内以下手廻以上

登城 10、右拜領の品、久葛掬へ 11、騎様より拜
領の品を久葛掬へ 12、江戸小知行、人足の不足分

13、江戸小知行、人足の不足分

14、江戸小知行、人足の不足分

15、江戸小知行、人足の不足分

16、江戸小知行、人足の不足分

17、江戸小知行、人足の不足分

18、江戸小知行、人足の不足分

19、江戸小知行、人足の不足分

を江戸で扱え左ので登らせる必要存し 13. 昆多村

監物組の支配は、監物が下回するまで高倉兵右江内

支配するよう 14. 伊左江内、庄右江内以下半廻

以上祝儀の巨め登城

八戌戌日 陽

1. 江戸へ飛脚

九己亥日 昨丑刻地震 卯刻雨及未刻

1. 別条存し

十庚子日 晦 霰

1. 外記外登城

十一辛丑日 陽

1. 高倉五兵江大鶴へ湯治願

十二壬寅日 雨

1. 式日寄合

十三癸卯日 雨

1. 別条存し

十四甲辰日 陽 嵐

1. 外記登城 2. 城付足輕打越席左江内昨晩病死

十五乙巳日 陽

1. 恒例の諸御礼 2. 伊左江内外登城 3. 飛脚に、

家中出金去年霜月分四百兩差登寸

十六丙午日 雨

1. 別条存し

十七丁未日 雨

別条存し

十八戊申日 陽

1. 別条存し

十九己酉日 陽

1. 左内登城

廿庚戌日 陽

1. 別条存し

廿一辛亥日 陽

1. 別条存し

廿二壬子日 陽

1. 式日寄合

廿三癸丑日 陽 嵐夜雨

1. 外記登城

廿四甲寅日 陽

1. 別条存し

廿五乙卯日 陽

1. 外記登城

廿六丙辰日 陽

1. 平内山見分、係絵図等持参

廿七丁巳日 雨

1. 式日寄合 2. 深浦沖横目の者誓詞 3. 金井ヶ沢

沖横目の者誓詞 4. 御勘定之者神半左江内家来浦

三郎と申す者夜逃けいたし搦取り斬罪 5. 高倉兵

右江内組成田兵右江内病死 6. 犬坂屋久左江内申

立候は奥州之内蘇土商売の儀は拙者のみにして、他に許可しないので申し、江戸より上方は大野守三左衛門に仰付られたいと、願の匯許可

三月廿五日 雨

1. 恒例の諸御礼 2. 庄右衛門、外記登城

三月廿六日 雨

1. 主膳江戸登り前放、体息のため今日より用向判形存し

三月廿七日 晴

月番 北村弥右衛門

1. 恒例の諸御礼 2. 庄兵江青森より罷越す

三月廿八日 晴

1. 江戸から飛脚 2. 寄合存し

三月廿九日 雨

1. 卯刻洪水 2. 主膳江戸へ発足 3. 五所河原御威

派遣出入あり、見分のため役人派遣 4. 5. 土井能

登守らの招請 6. 江戸御足輕頭を任命 7. 長柄

の者三十人を召抱える 8. 9. 歩行を任命 10. 11.

児小姓へ金三枚切米を命ず 12. 松浦伊兵衛へ褒美

13. 名替 14. 跡式 15. 藩士の死亡による扶持没取

16. 乱気の者の知行没取 17. 袖置願 18. 跡式

19. 新たに出来た木綿威へ荷物を移す 20. 金蔵の新規

建築につき作事奉行へ申渡す 21. 景勝院の後任願

1. について 22. 歩行小頭十一人主膳発足後に出発さ

せるよう 23. 足輕二組小知行人足の任用 24. 小

知行組頭十人等登るべき由 25. 細工稽古の願

26. 勘定仕並一人登せるよう申渡す 27. 足輕小知行の出

銀にのいて 28. 板向の者三人の下旬につき

29. 中向の罷登り無用の由 30. 報恩寺の下着のこと

31. 大納戸役の任命 32. 小頭の任命 33. 二月分の御

城書 34. 36. 雨具、長柄の笠につき覚書 37. 高

藏院の仏殿へ蘇土差し上げる旨 38. 年忌に當る寺

寺への書付

四癸亥日 晴

1. 又昌院、溝坂寺へ仏参

五甲子日 (天候記事なし)

1. 添田組中已達れ野稽古へ

六乙丑日

1. 別条なし

七丙寅日 雨

1. 寄合存し 2. 歩行小頭共十一人を江戸へ発足せし

む 3. 不届者を越山追放

八丁卯日 晴

1. 別条なし

九戊辰日 晴

1. 別条なし

十己巳日 晴

1. 江戸より飛脚
2. 木村伊右衛門下着
3. 江戸での不届者を同道

十一庚午日 晴

(記事なし)

十二辛未日 晴風

1. 2. 寄合場での申渡の覚(役銀割付など)

3. 3. 4. 国元惣足輕惣小知行残りす役銀出した覚

十三壬申日 晴

1. 赤石村の歳百姓の家焼失
2. 江戸から飛脚

十四癸酉日 晴

(記事なし)

十五甲戌日 晴

1. 恒例の諸御礼

十六乙亥日 晴

1. 江戸へ飛脚

十七丙子日 晴

1. 寄合なし
2. 九十九森御糸の着の家焼失
3. 手廻巻西半三郎江戸へ出発

十八丁丑日 晴

1. 江戸より飛脚
2. 公方様より若殿、鯛など拜領

3. 文昌院へ端午の帷子、江戸より下さる
4. 兎小姓の切米金
5. 6. 加増
7. 高殿院の仏殿造営に赫土を献上
8. 赤田儀左衛門の母の十三回忌に対し

香菓

十九戊寅日 晴戌刻雨

(記事なし)

廿己卯日 雨

1. 不届者を追放

廿一庚辰日 晴

1. 柳引孫次郎下着

廿二辛巳日 晴

1. 川島役御印出役

廿三壬午日 卯刻雨 陰

1. 赤石江内、持病おこる

廿四癸未日 晴 夜雨

1. 赤田儀左衛門組中召座札野稽古へ

廿五甲申日 晴 寅刻迅雷大雨

1. 別条なし

廿六乙酉日 晴

1. 歩行目付に大坂登りを命ず

廿七丙戌日 晴

1. 寄合なし
2. 左京の家来下着

廿八丁亥日 晴

1. 恒例の諸御礼
2. 碓ヶ崎横目方へ書付で申渡わした覚(五)へ他領へ侵入して木を伐取った着の請取りにのぎ

廿九戊子日 晴

1. 比内山へ入って木を伐取った着の請取りにつぎ

2. 右の津で佐竹石見方よりの申入れ

近空八庚申年五月小 月番 北村弥右内

一己丑日 暎 午刻雷雨及終夜

1. 恒例の諸御礼

二庚寅日 暎 風

1. 本町村の者の火災につき郡奉行注進

三辛卯日 暎午刻雷 暎 風

1. 添田儀左内門の母の十三回忌に對し香奠 2. 江戸

諸の丈工ら下着

四壬辰日 暎 風

1. 別祭存し

近空巳日 暎 風

1. 嘉例の諸御礼

4. 江戸表別祭存し

六甲午日 暎

1. 寺社方の御礼 2. 報恩寺の後注到着

七己未日 暎

1. 野穩古

八庚申日 暎

1. 野穩古

九丁酉日 暎 霰

1. 葦刈村火事、数十軒焼失 2. 江戸へ飛脚

十戊戌日 暎

1. 唐牛与右内尾太銀山へ 2. 紳山榎立

十一己亥日 暎

1. 江戸より飛脚 2. 殿様御登城、時服拝領の由

3. 近日中に首尾よく御茶献上の由申し来る 4. 用人

後の任命 5. 欠落の小知行より知行取上 6. 百姓

欠落 7. 百姓自害 8. 商舖印百枚、早速で考査す

べき旨 9. 土蔵の書付、江戸より下す 10. 御城付

一封下着 11. 御近馬の出家時期について 12. 景根

13. 14. 長泉院殿住居の修理を指示 15. 竹森四郎左内門の

弟の根露

十二庚子日 暎

1. 御事の御吉左右内申し来る 2. 野穩古 3. 豊

判し小知行所七、技術未熟につき表へ返す

十三辛丑日 暎

1. 別祭存し

十四壬寅日 暎

1. 別祭存し

十五癸卯日 暎 未刻雨

1. 恒例の諸御礼 2. 伊左内門登城 3. 中西清右内

門下着

十六甲辰日 暎

1. 平内論山のこと相談

十七マビ日 暎

1. 江戸へ飛脚

十八酉半日 晦 風

- 1. 江戸より飛脚
- 2. 5. 殿様近江中にお目見仰付けらるべき旨
- 6. 右の御請として飛脚を出発せしむ

十九丁未日 晦 風

(記事存し)

廿戊申日 晦

1. 唐牛甚右江門下着

廿一己酉日 晦 風

1. 5. 唐牛甚右江門、殿様からの御意を申伝える

6. 2. 甚右江門の役柄と職務の取扱いについて

14. 甚右江門の支配

廿二庚戌日 晦 風

- 1. 式日寄合
- 2. 甚右江門の支配
- 3. 勘定の者、江戸より下番

江戸より下番

廿三辛亥日 晦 風

1. 2. 田村藤太夫ら往來の節、番所与力中下馬申しつくべき由

3. 右の通り書付番所へ

廿四壬子日 晦 風

- 1. 用人支配仰せのけらる
- 2. 寄合場へ出席
- 3. 用人支配を命ず
- 4. 渡辺次太夫江戸より下着

5. 覚(九項目)を御物頭等へ伝達

(1) 公方様御不例で、去る八日御他界の由

(2) 大納言の御幸

(3) 御他界につき物音高声と禁止

(4) 川長生禁止

(5) 山長生禁止

(6) 鴉物七日の向

停止 (4) 道中日程 (5) 進藤庄兵衛の留守中の勤

務につき (6) 唐牛甚右江門老中末座に詰める

6. 進藤庄兵衛青森より罷り上る

7. 江戸へ飛脚

廿五癸丑日 雨

1. 馬廻番頭等への申渡

廿六甲寅日 申刻雷電

1. 江戸へ飛脚

廿七乙卯日 晦 風 午刻霰 雷電

1. 江戸へ飛脚

2. 内分金二千五百兩を江戸へ登す

廿八丙辰日 晴

1. 公方様他界につき家中の御礼存し

廿九丁巳日 晴 風 夜雨

1. 別条存し

延宝八庚申年六月大

一戌午日 晴 未刻雷

1. 公方様他界につき御礼存し

2. 外記等登城

3. 山田清左江門等江戸より下着

二己未日 雨風

1. 寄合存し

三庚申日 晦 風 夜雨

1. 伊左江門登城

四辛酉日 卯刻大雨 晦

1. 久昌院、隣松寺へ仏参

五廿戌日 雨

1、岡田理右衛門家来、不届あり追放

六癸亥日 (天候なし)

(記事なし)

七甲子日 晴 雨

1、式日寄合

八乙丑日 晴

1、献上の漬蔵を登す 2、戌合贈銀高百石十四匁八分

宛上納すべき旨家中へ申渡す

九丙寅日 晴 申刻雨

1、次太夫、風気

十丁卯日 晴

1、外記登城 2、昨夜帰着の藩士を匿塞

十一戌辰日 晴

1、別条なし

十二己巳日 晴

1、式日寄合 2、座向坊主等下着

十三庚午日 晴 夜中雨

1、外記ら登城

十四辛未日 雨

(記事なし)

十五壬申日 晴

1、御礼なし 2、江戸へ出向く須藤半三郎に用状を持
参せしむ 3、江戸より帰る荷物惣奉行の路銀不足

の由で、飛脚二人を山形へ派遣

十六癸酉日 晴

1、外記登城

十七甲戌日 晴

1、寄合なし 2、く、公方様死去につき、諸寺院の賑

経納経につき算書未る

十八乙亥日 (天候記事なし)

1、別条なし

十九丙子日 晴 未刻雷大雨

1、五月二十八日江戸発足の荷物到着

廿丁酉日 晴 (記事なし)

廿一戌寅日 晴 (記事なし)

廿二己卯日 晴 雨

1、寄合なし 2、当用の物、江戸より調達の旨

3、中小姓の扶持切米没取 4、5、大坂への町人と知行

取の登せ方について 6、家中よりの出金、便次才

登せ申すべき由 7、御徳居様の御用をたす小知行、

今後不要の由、 8、御登米御用につき川越りを大

坂へ派遣